資料1



室蘭市地域公共交通網形成計画の改定について

骨子案

室蘭市地域公共交通活性化協議会

令和 5 年10月13日



- 1、中間見直しの結果
- 2、目指す姿と基本方針について
- 3、目標の精査・見直し【SWOT分析】
- 4、室蘭市の地域公共交通の現在
- 5、改定計画_室蘭市地域公共交通計画について
- 6、今後のスケジュールについて



- 1、中間見直しの結果
- 2、目指す姿と基本方針について
- 3、目標の精査・見直し【SWOT分析】
- 4、室蘭市の地域公共交通の現在
- 5、改定計画_室蘭市地域公共交通計画について
- 6、今後のスケジュールについて

1、中間見直しの結果



7/21開催_第16回当協議会資料より抜粋

- 計画期間の中間年による中間見直し (計画期間: 今和元年度~令和10年度)
 - ①「評価指標」の中間評価 ⇒ 5ページ
 - ②施策(取り組み)の実施状況の整理 ⇒ 6ページ

- ●法改正への対応(※令和2年11月改正/地域公共交通活性化再生法)
 - ①計画名称の変更

室蘭市地域公共交通網形成計画 ⇒ 室蘭市地域公共交通計画

②評価指標の追加 (努力義務) 公共交通の収支、公共交通への公的資金投入額など

1、中間見直しの結果



●計画期間の中間年による中間見直し

8/22開催_第17回当協議会資料より抜粋

	具体的な評価指標				
目標	指標	基準値 (2019年度)	実績値	目標値 (2028年度)	
①公共交通網の維 持確保を目指す	基幹的バス停*の人口カバー率 (バス停半径300m圏内) ※基幹的バス停:平日30便/日以上のバス停	年少人口: 46.8% 生産年齢人口: 47.9% 高齢人口: 43.6%	年少人口:54.1% 生産年齢人口: 54.4% 高齢人口:49.6%	いずれも 基準値を維持	
②公共交通利用率 の増加を目指す	JR年間利用率 (利用者数÷人口)	10.2	9.8	13.1	
	路線バス年間利用率 (同上)	50.2	41.1	60.2	
③公共交通の利便 性向上を目指す	路線バス利用の満足度(%) (公共交通利用アンケートから割合を集計)	36	34	50	
④公共交通の利用促進を目指す	公共交通の利用促進に係る取 り組み実施回数 (回/年)	-	8	12	
⑤公共交通サービ スの持続的な提供 を目指す	人材確保の取り組み実施回数 (回/年)	=	2	2	

⇒ 評価指標はそのまま継続とします。

- 1、中間見直しの結果
 - 計画期間の中間年による中間見直し



■協議会の開催状況

【第16回】

令和 5 年 **7 月21日**

概要説明&改定スケジュール説明

【第17回】

令和 5 年 **8 月22日**

中間評価&課題整理

前回までに、

「評価指標の中間評価」

「事業項目毎の中間評価」

「市民アンケートの実施」

「課題整理」 などをおこないました。

右記の事業項目については、おおむね取り組むことができてい

ることを確認しました。

実現に向けた施策体系による事業項目と進捗状況				
事業項目	事業進捗状況			
1 持続可能なバス路線網の構築	令和2年度地域公共交通再構築検討調査にて検討			
2 生活交通路線の維持確保	生活交通路線維持確保バス補助金			
3 関係機関による協議の場の設置	毎年2~3回程度協議会を開催し、協議を推進			
4 地域間幹線系統バス路線の維持・改善	道主体「胆振地域公共交通活性化協議会」が発足・連携			
5 広域的な公共交通の維持・改善	道主体「胆振地域公共交通活性化協議会」が発足・連携			
6 主要アクセス道路の維持・改善	関係機関への事業要望を継続的に実施			
7 地域コミュニティ交通事業	スクールバス混乗、ちょい乗り白鳥台			
8 新たな二次交通の導入	自動運転の試乗(視察)			
9 最先端技術の調査研究	ちょい乗り白鳥台、買い物相乗りタクシー実証ほか			
10 高齢者の移動手段の確保	ワンコインパス、ふれあいパス			
11 ユニバーサルデザイン車両の導入促進	ユニバーサルデザインタクシーの導入			
12 ICTを活用した公共交通サービスの向上	バスキタ(道南バス)や決済サービスの導入			
13 交通結節点の機能強化	デジタルサイネージ・案内板の設置			
14 待合環境の改善	広域センタービル前・栗林総合アリーナ前			
15 モビリティ・マネジメントの推進	バスの乗り方教室、ノーマイカーデーの実施、 プレミアム交通チケット発行			
16 公共交通に関する情報発信強化	市HP、市広報にて情報の周知			
17 人材確保のための取り組み	市広報(運転手採用説明会)への掲載			
18 公共交通事業者のイメージアップ	現場女子(バス運転手)の掲載			
19 スクールバス運行の適正化	台数などの適正化を継続的に検討 6			



- 1、中間見直しの結果
- 2、目指す姿と基本方針について
- 3、目標の精査・見直し【SWOT分析】
- 4、室蘭市の地域公共交通の現在
- 5、改定計画_室蘭市地域公共交通計画について
- 6、今後のスケジュールについて

2、目指す姿と基本方針について



- ●計画の移行にあたり計画の構成を下記の順とします。
- 『 基本方針 ⇒ 目標 ⇒ 目標達成のための施策・事業 ⇒ 達成状況の評価 』

■現在の本計画の目次

				_	
0.	. はじめに				
	0.1. 地域公共交通網形成計画とは				
	0.2.	地域公共交通網形成	計画に定める事項	1	
	0.3.	地域公共交通網形成	計画の背景と目的	1	
	0.4.	計画の位置付け			
	0.5.	. 計画の対象区域			
	0.6.	計画の期間		1	
1.	地域	の現状と課題	100# 50	1	
Г	1.1.	地域の現状	4つの視点の	ŀ	
	1.2.	公共交通の現状	各課題を章に分割		
	1.3.	3. 市民アンケート等			
	1.4.	関連計画等の整理			
	1.5.	地域公共交通網の課	題		
2.	基本	的な方針		Ī	
	2.1.	現状課題と課題解決の	のための視点		
	2.2.	基本的な方針の実現に	こ向けた施策・事業		
	2.3.	事業項目の概要			
	2.4.	事業スケジュール			
3.	計画	の目標と評価			
	3.1.	. 目標·評価指標設定の体系			
	3.2.	. 評価指標			
	3.3. 計画の達成状況の評価方法				
4.	4. 室蘭市公共交通網の目指すイメージ				

■改定計画目次案

-		はじめに	-
		1.1.	計画改定の趣旨
		1.2.	計画の位置付け
		1.3.	計画の対象区域
		1.4.	計画の期間
•	2.	地域の	現状
		2.1.	地形·地理
		2.2.	人口
		2.3.	各種施設の状況
		2.4.	市民の移動実態
			観光需要の動向
1	3.	地域公	共交通の現状
		3.1.	鉄道
			路線バス
		3.3.	タクシー・ハイヤー
\.			その他
*	4.		態・ニーズ調査
			市民アンケート調査
			利用特性
	5.		画等の整理
	6.		共交通の課題
	7.		な方針・目標
			計画の基本的な方針
	_		基本方針の実現に向けた目標
	8.		成のための施策・事業
	9.		達成状況の評価
			計画の評価指標
		9.2.	計画の達成状況の評価方法

<参考>手引きにおける構成例

【地域公共交通計画の構成例】

はじめに

- 計画作成の趣旨及び位置付け
- ・計画の区域
- ・計画の期間
- 1. 地域の現状等
 - 地勢 · 地理
 - 社会状況 経済状況
- 2. 上位・関連計画の整理
 - 総合計画
 - 都市計画マスタープラン
 - 立地適正化計画
 - 観光圏整備計画
 - その他の関連計画
- 3. 地域旅客運送サービスの現状等
 - 地域旅客運送サービスの整備状況
 - ・地域旅客運送サービスの利用状況、利用者の意向等
- 4. 地域旅客運送サービスの役割と課題整理
 - ・ 地域旅客運送サービスの役割
 - ・ 地域旅客運送サービスの課題整理
- 5. 基本的な方針
- 6. 計画の目標
- 7. 目標達成のための施策・事業、資金調達計画
- 8. 計画の達成状況の評価

「地域公共交通計画等の作成と運用の 手引き(国交省(R4.3)」を参考 に構成を変更

2、目指す姿と基本方針について

■課題の修正から目指す姿と基本方針の確認



1.地域の現状からみた課題

- (1) 少子高齢化、人口減少
- (1)公共交通利用の全体数の減少と高齢化への対応が必要
- (2) 地区別の人口密度の変化
- ②人口集積や人口構造の濃淡にあわせた公共交通網の形 成が必要
- (3) 各種施設分布の状況
- ③施設立地にあわせ目的地への利用利便性を高める公共 交通網の形成が必要
- (4) 市民の移動実態
- ④市内移動及び広域移動を確保する公共交通網の維持・ 改善が必要
- (5) 観光需要の動向
- (5)来街者もわかりやすい公共交通サービスの提供や、観 光拠点へのアクセス確保が必要

2.公共交通の現状からみた課題

- ①コロナ禍で加速した公共交通利用減少に対する利用 (1) 公共交通利用者数の状況 促進、維持確保策の検討が必要
- (2) 路線バスによる人口の カバー状況
- ②公共交通の不便地域での移動手段の確保が必要
 - ③効率的な公共交通網の構築と利用促進が必要
- (3) 路線バスの運行実態
- ④利用実態を踏まえた効率的な公共交通網の形成、 持が必要
- (4) 交通事業者の環境の変化
- ⑤公共交通の担い手不足の解消に向けた緊急的な対応 や、車両の維持・確保が必要

3.市民アンケート等からみた課題

- (1) 路線バスの満足度
- ①公共交通の利便性向上に向けた乗り継ぎの改善や待 合環境の整備が必要
- (2) 年齢区分別の満足度
- ②各世代のニーズに対応した公共交通サービスの提供 が必要
- (3) 地区別の利用特性
- ③各地区の利用特性に応じた公共交通サービスの提供 が必要

4.関連計画等の整理からみた課題

- (1)関連計画からみた公共 交通
- ①室蘭市立地適正化計画で設定されている誘導方針の 実現に向けた利便性の高い公共交通網の構築が必要 ②白鳥新道を活かしたサークル都市の骨格構造を形成 する交通軸の維持・改善が必要

目指す姿と基本方針

基本方針1

コンパクト・プラス・ネットワークの実現

■ 室蘭市立地適正化計画と連携し、市全体で生活利便性の高いコ ンパクトなまちづくりと公共交通網形成の実現を目指します。

基本方針2

まちづ

Ż 利

غ

便性 ŋ

の

高体

いと

公共交通になって生

交通網に

心実現 心を豊か

にす

地区特性を踏まえた多様な公共交通の確保

■ 高齢化が進んでおり、坂が多く沢ごとに形成された市街地など の地区特性を踏まえ、だれもが利用しやすい公共交通の確保を 目指します。

「地域 | → 「地区 | へ文言を修正

基本方針3

公共交通の利便性向上や市民意識の醸成による利用促進

■ 利便性を高める公共交通環境の創出や、行政・事業者・市民が 一体となった取り組みにより公共交通のさらなる利用促進を目 指します。

基本方針4

公共交通サービスの持続的な提供に向けた取り組み強化

■ 路線バスやタクシーの運転手の高齢化は深刻化しており、車両 の老朽化も進んでいるなかで、利用者・行政・事業者全体で公 共交通を守る取り組みにより、持続可能な公共交通サービスの 提供を目指します。

⇒課題として大きな方向性の転換は見られないことから、 目指す姿、基本方針は網形成計画時のものを継続



- 1、中間見直しの結果
- 2、目指す姿と基本方針について
- 3、目標の精査・見直し【SWOT分析】
- 4、室蘭市の地域公共交通の現在
- 5、改定計画_室蘭市地域公共交通計画について
- 6、今後のスケジュールについて

3、目標の精査・見直し【SWOT分析】



『 基本方針 ⇒ 目標 ⇒ 目標達成のための施策・事業 ⇒ 達成状況の評価

■精査・見直しの方針

- •前回協議会にて整理した課題(弱み)や、最新の社会背景等を考慮した室蘭市における強みなどを踏まえて、 目標の精査・見直しを行う。
- ・具体の精査・見直しの方法として、室蘭市の公共交通の 置かれている状況を明確化するため、室蘭市の公共交通を 対象として、目標達成に向けた取り組みの方向性や戦略の 検討に優れたSWOT分析※を実施する。

・SWOT分析で明確化した室蘭市の現状から、<u>計画の戦略方針</u>を定め、説明性が高い計画 目標となるよう精査・見直しを行う。

※SWOT分析: 目標達成に向けて、企業や組織、プロジェクト等の全体評価を行う際に、内部環境(Strength;強み・Weakness;弱み)と外部環境(Opportunity;機会、Threat;脅威)に分けて評価、分析する手法。 内部環境だけでなく外部環境にも目を向けることで、客観的に全体の状況を捉えられ、機会と脅威など、両側面

に対しての分析を併せて実施可能。

3、目標の精査・見直し【SWOT分析】



<STEP1>

・室蘭市の公共交通が持つ優位性などを『強み(Strength)』、公共交通が抱える課題を『弱み(Weakness)』として整理

-【 SWOT分析について 】

・網形成計画策定以降の社会環境の変化を中心に、室蘭市の公共交通の改善に 優位に働く変化を『機会(Opportunity)』、不利に働く変化を『脅威 (Threat)』として整理

<STEP2>

- ・「強み/弱み」および「機会/脅威」をクロスすることで4象限に分類し、そこに網 形成計画の施策体系(⇒目指すべき目標として再整理)を当て込むことで、室 蘭市の公共交通が置かれている状況と網形成計画時点の目標の整合性 を精査
- ・「強み/弱み、機会/脅威」をクロスした4象限(4つの戦略方針)に対して**目標が整 合しない**場合は、**見直し**を行う

3、目標の精査・見直し【SWOT分析】





	プラス要因	マイナス要因
	強み(Strength)	弱み(Weakness)
(公共交通の特徴)	【室蘭市の公共交通の長所】 ①都市機能が集中する室蘭駅周辺と東室蘭駅周辺、東室蘭駅周辺と隣接都市をJRが接続 ②太平洋に突き出た絵鞆半島が、白鳥大橋によりサークル状の道路ネットワークを形成 ③市内のほぼ全域をバス路線が網羅し、バス停300m圏は市内人口の約8割をカバー ④AIオンデマンド交通(ちょい乗り白鳥台)や相乗りタクシー等の地区や利用者のニーズに合わせた新たな運行形態の導入を積極的に実施(室蘭MaaSプロジェクト) ⑤バスロケーションシステムの導入により、バス利用時の高い信頼性を担保	【室蘭市の公共交通の短所】 ①丘陵地や沢沿いに住宅地が形成されているため、都市機能が集中する室蘭駅・東室蘭駅周辺とそれらの住宅地をつなぐバスネットワークが非効率 ②JR・路線バス・タクシーの乗車人数が減少傾向 ③市内人口の半数以上は、バスの運行頻度が低い地域に居住 ④乗り継ぎや待合環境等に関する不満度が高い ⑤バスドライバー、タクシードライバーなど、公共交通の担い手不足が顕在化し、「収入」や「労働時間」に対する改善が望まれている
$\widehat{\lambda}$	機会(Opportunity)	脅威(Threat)
・ ・ 外部環境 ・	【室蘭市の公共交通にプラスに働く社会の変化】 ①高齢化の進展及び高齢者の運転免許返納の増加等により、公共交通を必要とする市民の割合が上昇 ②新型コロナウイルス感染症の世界的大流行(パンデミック)が収束に向かっており、観光入込が回復傾向 ③AIオンデマンドやMaaS、自動運転等の公共交通分野のICTの技術開発や実証実験、導入が進展 ④立地適正化計画により設定された、誘導方針の実現に向けた公共交通網の構築が必要	【室蘭市の公共交通にマイナスに働く社会の変化】 ①一部の地区を除いて人口減少が顕著(公共交通利用者の ベースが減少) ②人件費・燃料費の高騰等により、バスの運行経費が増加 ③新型コロナウイルス感染症の世界的大流行(パンデミッ ク)により生活様式が変化し、市民の外出頻度が減少 ④2024年問題により、公共交通ドライバーの人手不足がま すます深刻化な状況

3、目標の精査・見直し【SWOT分析】

<STEP2>クロスSWOT分析による目標の精査・見直し



<STEP2>をおこなう前に、改定計画の構成の変更に合わせて 『施策・事業』について『目標』となるように整理します。

【現網形成計画における施策体系】

実現に向けた施策体系(取組み)

- ① 持続可能な公共交通網の 構築に向けた取組み
- ② 都市の骨格交通軸の 維持・改善に向けた取組み
- ③ 地域特性に応じた最適な 公共交通の導入に向けた取組み
- ④ 高齢化に対応した取組み
- ⑤ 公共交通の利用環境の 向上に向けた取組み
- ⑥ 市民意識の醸成など公共交通 全体の活性化に向けた取組み
- ⑦ 公共交通を守り育む取組み

【改定 施策体系→目標への整理(案)】

基本方針の実現に向けた目標

- D 持続可能な公共交通網の 構築を目指す
- ② 都市の骨格交通軸の 維持・改善<mark>を目指す</mark>
- ③ 地区特性に応じた最適な 公共交通の導入を目指す
- ④ 高齢者に対応した公共交通を目指す
- ⑤ 公共交通の利用環境の 向上を目指す
- ⑥ 市民意識の醸成など公共交通全体の活性化を目指す
- ⑦ 公共交通を守り育む<mark>取組み</mark>

目標達成のための施策・事業

- ・事業項目毎の進捗状況を踏ま えて、取り組みが順調な事業は 継続し、その他は集約を含め内 容の見直しを行います。
- ・上記の見直しを踏まえながら 新たな施策を検討し、加えて「地 域公共交通計画」に対応する施 策の検討をします。

3、目標の精査・見直し【SWOT分析】



<STEP2>クロスSWOT分析による目標の精査・見直し

•「強み/弱み、機会/脅威」をクロスした4つの象限を、改定する公共交通計画の戦略方針とし、現網形成計画の目標を当て込み

	強み(Strength)	弱み(Weakness)
	積極的戦略(強み×機会)	弱点強化戦略(弱み×機会)
機会 (Opportunity)	方針2 :地区特性を踏まえた多様な公共交通の確保 ・目標③:地区特性に応じた最適な公共交通の導 入を目指す(S④×0③) ・目標④:高齢化に対応した公共交通を目指す (S④・⑤×0①)	方針1 :コンパクト・プラス・ネットワークの実現・目標①:持続可能な公共交通網の構築を目指す(W①・②・③×0③・④) 方針3 :公共交通の利便性向上や市民意識の醸成による利用促進・目標⑤:公共交通の利用環境の向上を目指す(W②・④×0①・②・③)
	差別化戦略(強み×脅威)	防衛戦略(弱み×脅威)
脅威 (Threat)	方針1 :コンパクト・プラス・ネットワークの実現・目標②:公共交通により都市の骨格交通軸の維持・改善を目指す(S ①・②・③× T ①)	方針1:コンパクト・プラス・ネットワークの実現 ・目標①:持続可能な公共交通網の構築を目指す (W①・②・③×T①・②・③) 方針3:公共交通の利便性向上や市民意識の醸成による利用促進 ・目標⑥:市民意識の醸成など公共交通全体の活性化を目指す(W①・②×T①・③) 方針4:公共交通サービスの持続的な提供に向けた取り組み強化 ・目標⑦:公共交通を守り育む(W⑤×T④)

3、目標の精査・見直し【SWOT分析】





【改定 施策体系→目標への整理(案)】

基本方針の実現に向けた目標

- ① 持続可能な公共交通網の 構築を目指す
- ② 都市の骨格交通軸の 維持・改善を目指す
- ③ 地区特性に応じた最適な 公共交通の導入を目指す
- ④ 高齢化に対応した公共交通を 目指す
- ⑤ 公共交通の利用環境の 向上を目指す
- ⑥ 市民意識の醸成など公共交通 全体の活性化を目指す
- ⑦公共交通を守り育む取組み

「強み/弱み、機会/脅威」をクロスした 4象限を、改定計画の戦略方針とし、 現網形成計画の目標を当て込み

弱点強化戦略

防衛戦略

差別化戦略

積極的戦略

積極的戦略

弱点強化戦略

防衛戦略

防衛戦略

【SWOT分析後】

基本方針の実現に向けた目標

- 効率的かつ持続可能な 公共交通網の構築を目指す
- ② 都市の骨格交通軸の 維持・改善を目指す
- ③ 地区特性に応じた最適な 公共交通の導入を目指す
- ④ 高齢者も外出したくなる公共交 通を目指す
- ⑤ 公共交通の利用環境整備により 利便性向上を目指す
- ⑥ 市民意識の醸成など公共交通 全体の活性化を目指す
- ⑦ 公共交通を守り育む



- 1、中間見直しの結果
- 2、目指す姿と基本方針について
- 3、目標の精査・見直し【SWOT分析】
- 4、室蘭市の地域公共交通の現在
- 5、改定計画_室蘭市地域公共交通計画について
- 6、今後のスケジュールについて

4、室蘭市の地域公共交通の現在



10年後





バス事業者が置かれている状況

▼計画策定時(H30)と現在(R5)の運転手の年齢構成の変化



タクシー乗車人員・登録台数推移



JR乗降客数推移



タクシー事業者が置かれている状況





本計画策定時は『潜在化』としていた運転手の担い手不足は、コロナ禍を経て『顕在化』しており、運転手確保が喫緊の課題であるため、早期の解決へ向けた施策の推進を交通事業者・行政ほか人材確保に関わる関係団体などと共に進めていく必要がある。

4、室蘭市の地域公共交通の現在



■交通事業者へのヒアリング結果

鉄道 会社の声

- ・鉄道施設は駅を含め老朽化が進んでおり、維持管理に苦慮している状況です。
- ・交通結節機能の強化に取り組みについては、出来る限り協力していきたいと考えております。
- ・日常的な利用促進のため、地域の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

室蘭市内 バス会社の声

- ・運転手不足はコロナ禍前から問題となっており、様々な取組みを行っているが成果は挙がっておらず、最近は事務員に免許を取ってもらうなどして対応しています。2024年問題もあり人員不足に拍車がかかることを危惧している状況です。路線バスの再編により、一部路線をデマンドバスへ切り替えることで、定年退職した運転手を充てることも考えられます。
- ・車両については、新車の高騰や、コロナ禍における利用者減による苦しい経営状況もあり、中古車両を購入せざるを得ない状況です。それでも、ノンステップバス・ワンステップバスは2001(平成13)年頃から徐々に導入が進んでおり、所有する車両の約半分がバリアフリー対応の車両となっています。

室蘭市内 タクシー会社の声

- ・運転手不足が経営に大きく響いており、今後も高齢運転手の退職が続くと考えられます。 新型コロナが5類に移行した後は、配車の依頼が来ても、断らざるを得ない状況も発生して います。
- ・タクシー運転手はお客様に感謝をしていただける職業であり、サービスをきちんと提供する ことで、売り上げがいい運転手もいる。その辺りのやりがいが伝わっていない部分もあると 感じています。
- │・車両についても、現在使用している型の車両は廃番となっており、引退した車両の使える部 │ 分を再利用しながら運行している状況もあります。

コロナ禍を経て『顕在化』した運転手確保の課題解決と合わせて、今考えられる対応策(数少ない台数で多くの移動をさせるなど)と地域公共交通事業者と行政・また利用者と共に検討して進めていく必要がある。



- 1、中間見直しの結果
- 2、目指す姿と基本方針について
- 3、目標の精査・見直し【SWOT分析】
- 4、室蘭市の地域公共交通の現在
- 5、改定計画_室蘭市地域公共交通計画について
- 6、今後のスケジュールについて

5、改定計画_室蘭市地域公共交通計画について



室蘭市地域公共交通網形成計画 から 室蘭市地域公共交通計画 へ

●計画年度

当初策定の計画年度から

【計画期間:令和6年度~令和10年度】(5年間)とします。

(※当初計画_計画期間:令和元年度~令和10年度)

●評価指標の追加 (努力義務)

- ・利用者の数 → 指標③を継続
- ・公共交通の収支 → 追加を検討
- ・公共交通への公的資金投入額
 - → コロナ後の社会情勢が不確定のため見送りとしたい



5、改定計画 室蘭市地域公共交通計画について



■改定計画_目指す姿・基本方針・目標について

目指す姿と基本方針

基本方針1

コンパクト・プラス・ネットワークの実現

■ 室蘭市立地適正化計画と連携し、市全体で生活利便性の高いコンパクトなまちづくりと公共交通網形成の実現を目指します。

基本方針2

地区特性を踏まえた多様な公共交通の確保

■ 高齢化が進んでおり、坂が多く沢ごとに形成された市街地などの 地区特性を踏まえ、だれもが利用しやすい公共交通の確保を目指 します。

基本方針3

公共交通の利便性向上や市民意識の醸成による利用促進

■ 利便性を高める公共交通環境の創出や、行政・事業者・市民が一体となった取り組みにより公共交通のさらなる利用促進を目指します。

基本方針4

公共交通サービスの持続的な提供に向けた取り組み強化

■ 路線バスやタクシーの運転手の高齢化は深刻化しており、車両の 老朽化も進んでいるなかで、利用者・行政・事業者全体で公共交 通を守る取り組みにより、持続可能な公共交通サービスの提供を 目指します。

基本方針の実現に向けた目標

- ① **効率的かつ**持続可能な 公共交通網の構築を目指す
- ② 都市の骨格交通軸の 維持・改善を目指す
- ③ 地区特性に応じた最適な 公共交通の導入を目指す
- ④ 高齢者も外出したくなる公共交 通を目指す
- ⑤ 公共交通の利用環境整備により 利便性向上を目指す
- ⑥ 市民意識の醸成など公共交通 全体の活性化を目指す
- ⑦ 公共交通を守り育む

まちづ 利く 便り 性と 高体 いと 公な 共つ 交て 诵牛 網活 のを 実豊 現か (5 す

5、改定計画_室蘭市地域公共交通計画について



■改定計画_事業項目の継続方針について

目標	戦略方針	継続方針	事業項目	事業進捗状況
① 効率的かつ持続可能	弱点強化戦略		1 持続可能なバス路線網の構築	令和2年度地域公共交通再構築検討調査にて検討
公共交通網の構築を 目指す		継続	2 生活交通路線の維持確保	生活交通路線維持確保バス補助金
日相 9	防衛戦略		3 関係機関による協議の場の設置	毎年2~3回程度協議会を開催し、協議を推進
	差別化戦略	継続	4 地域間幹線系統バス路線の維持・改善	道主体「胆振地域公共交通活性化協議会」が発足・連携
② 都市の骨格交通軸の 維持・改善を目指す			5 広域的な公共交通の維持・改善	道主体「胆振地域公共交通活性化協議会」が発足・連携
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一			6 主要アクセス道路の維持・改善	関係機関への事業要望を継続的に実施
③ 地区特性に応じ最適		継続	7 地域コミュニティ交通事業	スクールバス混乗、ちょい乗り白鳥台
な公共交通の導入を	積極的戦略	集約検討	8 新たな二次交通の導入	自動運転の試乗(視察)
目指す			9 最先端技術の調査研究	ちょい乗り白鳥台、買い物相乗りタクシー実証ほか
④ 高齢者も外出したく	積極的戦略	的戦略 継続	10 高齢者の移動手段の確保	ワンコインパス、ふれあいパス
なる公共交通を目指す	1頁192日7年入1日		11 ユニバーサルデザイン車両の導入促進	ユニバーサルデザインタクシーの導入
⑤ 公共交通の利用環境	弱点強化戦略	継続	12 ICTを活用した公共交通サービスの向上	バスキタ(道南バス)や決済サービスの導入
整備により利便性向			13 交通結節点の機能強化	デジタルサイネージ・案内板の設置
上を目指す			14 待合環境の改善	広域センタービル前・栗林総合アリーナ前
⑥ 市民意識の醸成など 公共交通全体の活性	防衛戦略	継続	15 モビリティ・マネジメントの推進	バスの乗り方教室、ノーマイカーデーの実施、 プレミアム交通チケット発行
化を目指す			16 公共交通に関する情報発信強化	市HP、市広報にて情報の周知
	防衛戦略	取組強化	17 人材確保のための取り組み	市広報(運転手採用説明会)への掲載
⑦ 公共交通を守り育む			18 公共交通事業者のイメージアップ	現場女子(バス運転手)の掲載
		継続	19 スクールバス運行の適正化	台数などの適正化を継続的に検討



- 1、中間見直しの結果
- 2、目指す姿と基本方針について
- 3、目標の精査・見直し【SWOT分析】
- 4、室蘭市の地域公共交通の現在
- 5、改定計画_室蘭市地域公共交通計画について
- 6、今後のスケジュールについて

6、今後のスケジュールについて



力	主主	Δ
力力	哉	K

開催時期(予定)

内容(予定)

【第16回】

令和 5 年 **7 月21日**

概要説明&改定スケジュール説明

【第17回】

令和5年**8月22日**

中間評価 & 課題整理

【第18回】

令和 5 年**10月初旬**

骨子案

【第19回】

令和 5 年**11月中旬**

改定素案報告

令和5年12月中旬

議会報告

令和5年12月下旬~令和6年 1月中旬

パブリックコメント(市民意見)実施

【第20回】

令和6年2月下旬

パブコメ結果及び計画案報告

令和6年3月下旬

議会報告

令和6年3月下旬

室蘭市地域公共交通計画_公表